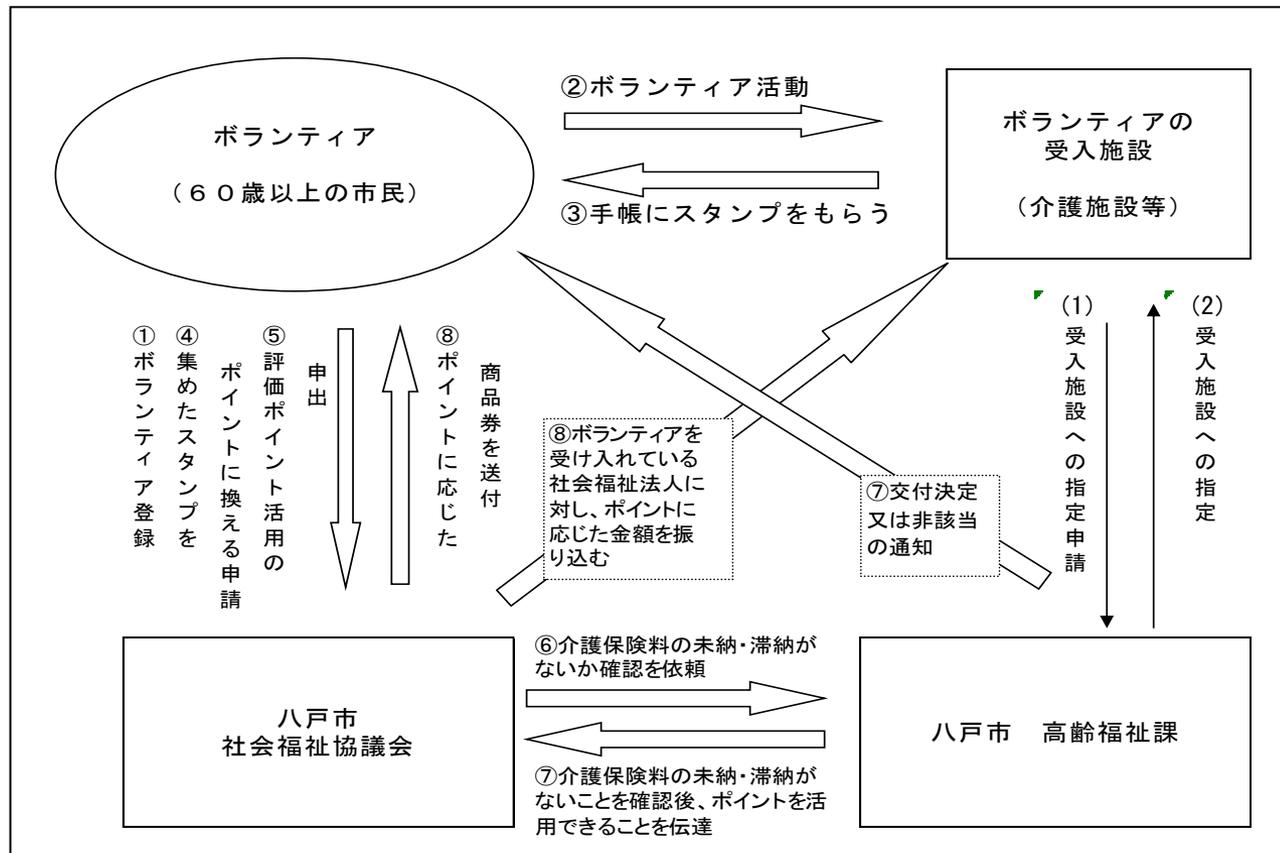


シニアはつらつポイント事業

- 市内の60歳以上の方が、介護施設等でボランティア活動をすることによって、自身の介護予防と、地域福祉を推進する。
- 平成23年度から実施し、平成25年4月末現在、60施設、224人が登録している。



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

① 町村名	八戸市
② 人口（※1）	239,172人（平成25年3月31日現在）（ ）
③ 高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	（平成25年3月31日現在）（ ） （65歳以上）24.6% （75歳以上）11.8%
③ 取組の概要	・高齢者が介護保険施設等でボランティア活動を行った場合、活動に応じてポイントを付与し、たまったポイントに応じて商品券等を交付する。
④ 取組の特徴	・ボランティアポイントを商品券等に交換できる。 ・介護支援ボランティア活動を通じて、自身の介護予防へとつなげる。
⑤ 始年度	平成23年度
⑥ 取組のこれまでの経緯	・平成23年度12月より参加者登録開始 ・平成24年1月よりボランティア活動開始 ・平成24年4月よりポイント活用（商品券と交換）開始
⑦ 主な利用者とな数	・市内受入機関 60施設（平成25年3月31日現在） ・ボランティア登録者数 224人（平成25年3月31日現在）
⑨ 取組の実施主体及び関連する団体・組織	・八戸市が八戸市社会福祉協議会へ委託して実施
⑩ 市区町村の関与（支援等）（※2）	・全額市の委託料
⑪ 国・都道府県の関与（支援等）（※3）	・なし
⑫ 取組の課題	・ボランティア登録者と受入施設とのマッチングができない。
⑬ 今後の取組予定	・事業継続し、登録者数の増加を図る。
⑭ その他	
⑮ 担当部署及び連絡先	八戸市 高齢福祉課 0178-43-9104（直通）

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
調査日（平成〇年〇月〇日現在）を記入してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

《八戸市》医療と介護の連携意見交換会 開催の流れ

